

◎冬の釜ヶ崎に支援を

今冬も次のように釜ヶ崎越冬活動をお願いします。この活動のためにカシノ、夜間パトロールには参加をお願いします。

〈期間〉12月25日～2月28日  
 〈パトロール〉12月25日～1月10日  
 までは午後7時と11時の二回。  
 1月10日以降は午後11時の一回。  
 〈炊き出し〉午前9時、午後1時、午後7時の三回。  
 〈医療券発行〉午前9時  
 〈ふとん〉医療センター前軒下  
 〈連帯集会〉12月16日午後6時30分、部落解放センター  
 なお、キリスト教釜ヶ崎越冬委員会では1月1日～3日まで、「釜ヶ崎と私」というテーマのもとに越冬セミナーを開きます。  
 いずれも、参加をお待ちします。



▼10月28日 小雨の中、山王子ども会運動会、於 金塚小学校。約一四〇人参加。ベビーセンターは室内での運動会を開催。

▼10月30日 LCAのアンダーソン、ホースター両師来訪。

▼11月1日 大阪府断酒会西成支部結成準備会。西成区の精神障害者は三八四人で、うち八〇～九〇人がアル中(六〇人が入院中)との発表があり、西成支部はいりん地区の単身者のみでなく、西成区全体を対象とすることなどを確認。

▼11月3日 むすび会は酒害者体験発表。

▼11月4日 釜ヶ崎委員会、於大阪教会。(1)現状報告 (2)原田孝治さん洗礼をめぐっての教会形成の問題。当面、大阪教会か天王寺教会の独立した地区集会としての可能性を検討。(3)スタッフの問題を含めて将来の見通し、など。

キリスト教釜ヶ崎越冬委員会では(1)専従者の決定 (2)市会議員訪問

の日程、など。インドネシアからドリーさんを迎えて交流のときも持った。杉浦健二さん一泊。

▼11月6日 青少年センターの安藤謙治さん、徳島での全国青年福祉ボランティア活動研修会へ参加。

▼11月8日 大阪府断酒会西成支部結成準備会。世話人代表に高木正義さんを選び、当分の間、阪南・浪速支部西成地区例会として月二回例会を開催する。会場は鈴木敏男さんに一任することなどを確認。

▼11月9日 ALCのスエンサイド師来訪。むすび会は枚方パークへ菊人形を観に行く。

▼11月10日 むすび会は誕生会と12月の計画。

▼11月11日 南YMCAの近隣教職者の会。タイの前チエンマイ神学大学教授の望月賢太郎さんの「アジアにおける日本の教会の責任」の講演。キリストの主権の下で、持てる国からの援助ということ

とではなく、相互に人間性の発展のために助け合う必要を強調。キリスト教釜ヶ崎越冬委員会では、大阪市環境保健局、西成保健所へ提出する結核問題の要望書の検討など。

▼11月12日(日) 山王子ども会スケート大会、於 なんば。三人参加。釜ヶ崎原爆被爆者の会、釜ヶ崎日雇労働組合、キリスト教釜ヶ崎委員会の三者で、環境局、保健所への要望書を次の七項目にまとめる。

(一) 冬期結核患者の完全治療を保障せよ。  
 (二) 入院必要患者の結核ベットを保障せよ。  
 (三) 通院必要患者の通院出来る病院をふやせ。  
 (四) 結核患者の夜間入院を保障せよ。  
 (五) 予防医療の立場からドヤの消毒をせよ。  
 (六) 各結核病院にカウンセラーを置く。

(一) 保健婦を増員し任期を延長せよ。

▼11月13日 越冬報告書、カンパ要請文の発送作業始まる。「オモニー」怒りは燃える」試写会  
 於 部落解放センター。一九七〇年11月13日ソウルの平和市場で、「私の死を無駄にするな」と叫んで壮絶な焼身自殺をとげた全泰若青年の闘いを引き継ぐ李小仙オモニー、人蔭にまみれた女工たちの闘いを映画化。

▼11月14日 住之江ボランティア奉仕。

▼11月15日 西成保健所で結核問題の団体交渉。要求書へは割合誠意をもった回答が出される。京都教会、天王寺教会の奉仕によるミニバザー。第一〇一回社会医学研究会、於 大阪社会医療センター。西成労働福祉センター専務理事麻谷勇さんの「あいりん地区労働者の就労実態」の報告。就労状況は昭和50年度をピークにやゝ上向きにあるが、建設関係が圧倒的

に多い。就労者を総計すると釜ヶ崎の日雇労働者は二万人を越える。アルコール問題研究会、於 大阪アルコール問題研究所。「症例検討」。

▼11月16日 釜ヶ崎地域問題研究会例会は「釜ヶ崎と私」のテーマで小柳、妹尾、岡さんの報告。

▼11月17日 広安愛児園の志垣秀男さん、るうてるホームの泉さん夫妻来訪。むすび会はねん土。

▼11月18日 第三回関西青年連合修養会。主題は「ルター」。20人参加。

▼11月21日 日本キリスト教団南海地区婦人会奉仕。今後は毎月第三火曜日が奉仕日となる。

▼11月22日 釜ヶ崎原爆被爆者の会、釜ヶ崎日雇労働組合、キリスト教釜ヶ崎越冬委員会の三者で結核問題団交の総括集会と大阪市立更生相談所への要求書作成。

▼11月22日 横浜寿町へバスツアー。

▼11月23日 天王寺教会会堂見

納め記念礼拝。

▼11月24日 喜望の家世話人会。むすび会は歌う会。

▼11月25日 キリスト教釜ヶ崎越冬委員会。大阪市への要望書を次の10項目にまとめる。

(1) 臨時宿泊所については、真に必要な人が入所できるように、入所資格を徹底していただきたい。  
 (2) 期間中は、毎日受付を行ない、入りたい青年者がいつでも入所出来るようにしていただきたい。  
 (3) 場所は、青年者の保護、入所に便利になるように釜ヶ崎の近辺に設置していただきたい。  
 (4) 民主的かつ人格的に対応が出来るように、管理方法を改めていただきたい。  
 (5) 病人が多いので、定期的に移動検診車を出していただきたい。  
 (6) 臨時宿泊所は別に、極度の生活困窮者を百名程度収容できる施設を、凍死、餓死のおそれのなくなる二月末日までの間、釜

ヶ崎近辺に開設していただきたい。

(7) 医療問題については、入退院歴のいかんにかかわらず、入院必要患者の完全入院を、生命尊重の立場から保障していただきたい。  
 (8) 通院患者の生活を保障していただきたい。  
 (9) 退院後の生活を保障していただきたい。  
 (10) 入院時、すみやかに生活必需品を支給していただきたい。  
 ◇今月も次の方がたから経済協力をお願いしました(敬称略)。  
 鈴木百合子 藤田京子 園田剛  
 松沢員子 杉浦健二 植田泰弘  
 山田経三 飯田はるみ 中野園子  
 美濃悦子 川久保公夫 中田茂  
 杉本登美男 山下ヤッコ 稲毛貞勝 勝部品代  
 ◇一九七八年もあと一カ月で終りです。何も出来ない一年でした。みなさまにクリスマスと新年の祝福を祈ります。